



地域の期待に応え
信頼される福祉の道を歩む



法人紹介



私ども恩賜財団愛知県同胞援護会は、皇室の強い思いを受け、終戦の翌年に戦災者や外地からの引揚者の方々などを支援するために設立された組織を源流としております。現在では、支援の対象は高齢者・障がい者といった方々になりましたが、支援を必要とする方々を救済したいという想いには変わりはありません。

職員一人ひとりが、戦後の日本を支えた高齢者のみなさまや障がいを持った方々とのつながりを大切にし、そして、人に尽くすことが幸せを分かち合うという喜びにつなげ、信頼し信頼される関係を築くことを目標としています。

本法人が、地域のみなさまの期待に応えるためには、人と人とのつながりを大切にし、みなさまに信頼される福祉の道を歩む必要があります。そのためには、法人組織の活性化と、それを支える職員同士の信頼関係を、より一層強固なものにしていく必要があります。

法人の役員と職員が志を一つにして、愛知県同胞援護会の将来をしっかりと見据え、新しい時代を築いていくために我々は前進してまいります。

基本理念

利用者の立場に立った良質な福祉サービスを提供するとともに、地域住民との交流・連携を図り、開かれた法人運営に努めます。

事業運営方針

サービス体制の充実を図り、利用者満足度の向上に努めます。

シンボルマーク

きしろう
今まで当法人の徽章や法人旗のシンボルとして使用してきた鳩のイメージを継承した2羽の鳩が寄り添う様は、人々を温かく包み込む思いやりの心と、手を取り合って支えあう福祉の姿勢を表現しています。
ロゴカラーは、青空と樹々の緑の躍動感あふれる様をグラデーションで表現しています。



沿革

1946年(昭和21年)5月

「恩賜財団軍人援護会」と「恩賜財団戦災援護会」が合併し、「恩賜財団同胞援護会 愛知県支部」が発足
(母子寮、児童養護施設、保育所、授産所などを108か所に設置・運営)

1951年(昭和26年)3月

本部の「恩賜財団同胞援護会」が解散されたことに伴い、「愛知県支部」は「財団法人恩賜財団愛知県同胞援護会」に改称し事業を継承

1952年(昭和27年)5月

社会福祉事業法の成立に伴い財団法人から社会福法人に改組し、「社会福祉法人恩賜財団愛知県同胞援護会」に改称

1966年(昭和41年)3月

社会情勢の変化により、母子寮等の事業を廃止

1967年(昭和42年)9月

新たな社会福祉事業として、老人ホーム設置の検討に入る

1986年(昭和61年)5月

春日井市内初の特別養護老人ホーム「春緑苑」を開設

1991年(平成3年)4月

身体障害者療護施設「春日苑」を開設

1992年(平成4年)4月

愛知県内初の認知症対応型デイサービスセンター「春緑苑」を開所

1995年(平成7年)4月

特別養護老人ホーム「とよた苑」を開設

1999年(平成11年)4月

知的障害者更生施設「サンホーム豊田」を開設

2003年(平成15年)4月

豊田市から養護老人ホーム「若草苑」の運営移管を受ける

2003年(平成15年)9月

豊田市から「東山デイサービスセンター」の指定管理を受ける

2006年(平成18年)3月

特別養護老人ホーム「第2春緑苑」を開設

2007年(平成19年)3月

就労継続支援B型事業所「ワーカー鷹来」を開所

2008年(平成20年)4月

特別養護老人ホーム「第2とよた苑」を開設

2009年(平成21年)4月

春日井市認可保育所「さくら保育園」を開所

2013年(平成25年)2月

特別養護老人ホーム「大府の郷」を開設

2013年(平成25年)4月

特別養護老人ホーム「保見の里」を開設

2022年(令和4年)4月

春日井市認可保育所「さくら第2保育園」を開所

ICTやロボット技術の活用

ほかのシステムとの連動で
大切な情報をいち早くスタッフへ通知

ナースコール

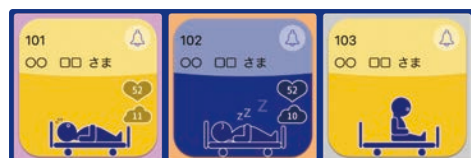
順次、スマートフォン対応型のナースコールを導入しています。これにより、電子カルテや見守り支援ロボット、内線機能などの複数のシステムがリンクし、スマートフォンで確認・操作できるため、迅速な対応が可能になるだけでなく、職員の負担軽減にも繋がっています。



入所者のタイミングに 合わせたケアを実現 見守り支援システム

見守り支援システムを特別養護老人ホーム、ショートステイ、グループホーム、養護老人ホーム及び障害者支援施設に導入しています。(812台)

これにより、入所者のみなさんの睡眠状態をPCやモバイル端末でリアルタイムに確認し、いち早く状態変化に気づくことができます。また、蓄積された睡眠記録を分析することで、個人個人の状態に合ったきめ細かいサービスの提供ができることに加え、職員が安心して介護できる働きやすい職場環境の実現に取り組んでいます。



先端のテクノロジーと、ヒト にはできないこと。
進化するシステムで、一歩先の安心を。

適切なケアをチームでサポート

電子カルテ

日々の記録を電子化することで、機動性のあるモバイル端末からの入力や、多職種との迅速な情報共有が可能なシステムを構築しています。これにより、個人のスキルに左右されがちな介護記録を標準化し、様々な記録をデータ化することで、ケアの見える化を図り、より質の高いケアを目指しています。

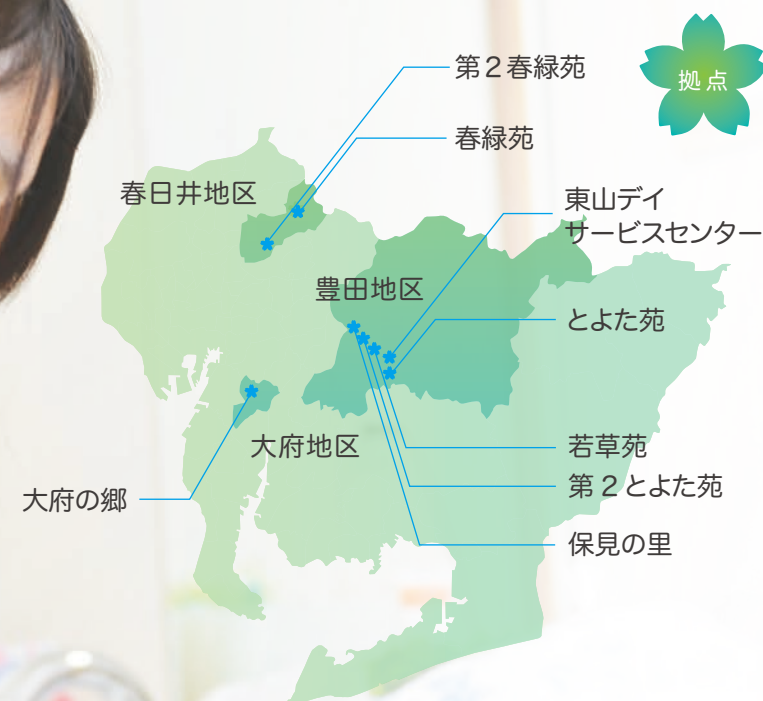


ノーリフティングケア

適切な福祉用具や技術を活用することで「抱え上げない・持ち上げない・引きずらない」を実践するノーリフティングケアを法人全体で取り組んでいます。ご利用者と職員、両者にとって介助時の身体的負担や不安を軽減しつつ、介護の質と安全性を高めることを目標とし研修の実施や機器の導入を進めています。



高齢者のために



春緑苑



第2 春緑苑



とよた苑



第2 とよた苑



保見の里



若草苑



大府の郷

特別養護老人ホーム

日常生活で常に介護が必要な方が入所する施設です。
要介護度3以上の認定を受けている方にご利用いただけます。

ショートステイ

自宅での介護を受けている方が一時的に入所する施設です。短期間入所いただき、日常生活する上で必要な介護の提供をします。

ケアハウス

独りで生活するには不安だったり、家族による援助を受けるのが困難な方が入所する施設です。低額でご利用いただけます。

養護老人ホーム

経済的な理由や家庭環境の理由により、自宅での生活が困難な方が入所する施設です。自立した生活が送れるよう支援します。

グループホーム

認知症の方が入所する少人数の施設です。家庭的な雰囲気の中で食事や入浴など、日常生活を支援します。

デイサービス

自宅で生活する方が日帰りで通う施設です。入浴、食事、日常動作訓練やレクリエーションを提供します。

ヘルパー

ホームヘルパーがご自宅を訪問するサービスです。食事・入浴などの身体介護や、調理・洗濯などの生活援助を提供します。

福祉用具貸与・販売

介護ベッドや手すり、歩行器などをレンタル・販売するサービスです。その方に合った機器を提案させていただきます。

居宅介護支援

介護保険サービスを利用するための窓口です。ケアマネジャーがご自宅で安心して過ごせるよう、ケアプランを作成します。

地域包括支援センター

市が委託する地域で暮らす高齢者やその家族を支えるための福祉の総合相談窓口です。中学校区域で担当が分かれています。

高齢者福祉サービス

	春緑苑	第2春緑苑	とよた苑	東山デイサービスセンター	第2とよた苑	保見の里	若草苑	大府の郷
特別養護老人ホーム	●	●	●		●	●		●
ショートステイ	●	●	●		●			●
ケアハウス	●		●					
養護老人ホーム							●	
グループホーム	●							
デイサービス	●	●	●	●	●			●
ヘルパー	●		●					
福祉用具貸与・販売	●		●					
居宅介護支援	●	●	●		●	●		●
地域包括支援センター	●	●	●			●		

障がい者のために

施設入所支援

主に夜間において、日常生活に常に支援が必要な方が入所する施設です。障害支援区分4以上の方にご利用いただけます。

生活介護

主に昼間において、日常生活に常に支援が必要な方が利用する施設です。自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上を支援します。

ショートステイ

自宅での介護を受けている方が一時的に入所する施設です。短期間入所いただき、日常生活する上で必要な介護の提供をします。

ヘルパー

ホームヘルパーがご自宅を訪問するサービスです。食事・入浴などの身体介護や、調理・洗濯などの家事援助を提供します。

障がい者生活支援センター

市が委託する障がい者等の在宅福祉に関する総合窓口です。在宅福祉サービスの利用援助や介護相談、情報提供などを行います。

相談支援

日常生活の困りごとや不安、悩みを一緒に解決を目指す相談窓口です。障がい福祉サービスを利用する際のケアプランの作成を行います。

就労継続支援B型

雇用されることが困難な障がいのある方が通う施設です。生産活動や就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練を行います。



春日苑



サンホーム豊田



ワーカー鷹来

障がい者福祉サービス

	春日苑	ワーカー鷹来	サンホーム豊田	春緑苑
施設入所支援	●		●	
生活介護	●		●	
ショートステイ	●		●	
ヘルパー				●
障がい者生活支援センター	●			
相談支援	●			
就労継続支援B型		●		



こどもたちのために

認可保育所

保護者の就労等の理由により、家庭で十分な保育ができない乳幼児をお預かりする施設です。利用するためには、市の認定が必要になります。



さくら保育園



さくら第2 保育園

一時保育

冠婚葬祭、病気などの理由により、家庭において保育が困難な時や、保護者のリフレッシュを目的として、児童をお預かりします。

休日保育

保育園が休みとなる日曜・祝日で、保護者の勤労等により家庭での保育が困難な場合に、児童をお預かりします。

児童福祉サービス

	さくら	さくら第2
認可保育所	●	●
一時保育	●	●
休日保育	●	

中期事業計画

今後、法人が継続的に安定した経営を行っていくために、すべての職員が「利用者満足」を第一に「サービスの内容・質」の向上を追求する姿勢が重要と考え、法人の基本理念の下、法人・事業所が目指すべき方向性や将来の目標を明確にし、職員が認識を一つにして事業運営にあたるよう「中期事業計画」を策定しています。

中期事業計画 事業運営目標

ICT の活用

在宅サービスにおけるICT活用
介護ロボットの導入

適正な人員配置

外国人介護士の受入拡大
託児所の拡充

地域交流・地域貢献

法人施設を活用した地域交流、
地域連携事業の実施

職員のモチベーション向上、 専門知識・技能の向上

リーダー職員の育成
職員寮の拡充

施設整備の計画的な 改修・更新

感染症対策強化のための施設改修
施設・設備の更新

事業所間連携強化・新事業 検討による経営の安定化

障がい者サービス、
介護サービス事業の拡充
在宅サービス充実強化

地域のみなさまとともに

地域の期待に応えたいという想いから、社会問題にもなっております高齢者の孤立・閉じこもりの解消や、地域住民の生きがいづくりを目的として、食事の提供や地域のみなさまの趣味や特技を生かした交流など、人と人を繋ぐ場として、ふれあいサロンを開設しています。

これからも地域の期待に応え
信頼される「福祉の道」を歩みます

法人概要

法人名	社会福祉法人 恩賜財団愛知県同胞援護会
設立年月日	昭和27年5月31日
所在地	愛知県春日井市廻間町字神屋洞703番地1
職員数	1,034名（令和7年4月現在）
事業所数	13拠点36事業所

拠点	定員		住所	電話番号	
	入所	通所			
春日井地区	春緑苑	225名	81名	〒487-0031 春日井市廻間町字神屋洞703-1	0568-88-5585
	春日苑	80名	8名		0568-88-5593
	第2春緑苑	100名	67名	〒486-0924 春日井市下津町500	0568-56-9171
	ワーカー鷹来	—	40名	〒487-0804 春日井市鷹来町4888-1	0568-87-7760
	さくら保育園	—	150名	〒487-0025 春日井市出川町8-6-1	0568-52-6006
	さくら第2保育園	—	150名	〒487-0034 春日井市白山町6-4-8	0568-27-7031
豊田地区	とよた苑	150名	67名	〒471-0813 豊田市野見山町5-80-1	0565-88-1700
	サンホーム豊田	60名	30名		0565-88-2001
	第2とよた苑	74名	65名	〒470-0342 豊田市大清水町大清水179-1	0565-43-0672
	保見の里	29名	—	〒470-0344 豊田市保見町南山109-1	0565-48-3002
	若草苑	50名	—	〒471-0061 豊田市若草町2-16-2	0565-32-0982
	東山デイサービスセンター	—	30名	〒471-0014 豊田市東山町2-1555-1	0565-87-1191
大府地区	大府の郷	100名	62名	〒474-0052 大府市長草町ドンド19	0562-48-8844



社会福祉法人 恩賜財団 愛知県同胞援護会

法人本部

〒487-0031 春日井市廻間町字神屋洞703-1
TEL：0568-88-8302 FAX：0568-88-0306
E-mail：info@douen.or.jp

